

⚠ 危険生物に注意！

松原ダムや下筌ダムの周辺には毒を持った生き物も生息しています。
みつけた場合は**刺激を与えないようにそっと離れましょう。**


ニホンマムシ


ヤマカガシ


キイロスズメバチ

⚠ 外来種について



外来種とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって
他の地域から入ってきて、その場所に住みついてしまった生き物のことです。


オオクチバス(ブラックバス)


オオキンケイギク


アライグマ

外来種が入ってしまうと、もともとそこに住んでいた生き物たち(在来種)の
エサや住み家が奪われたり、在来種が食べられて生息数が減ってしまいます。
また、わたしたちが食べる野菜や魚などの農林水産業も被害を受けています。

外来種による被害を予防するために、

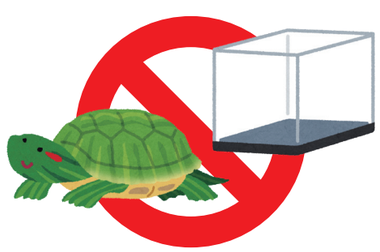
STOP 入れない!

悪い影響を及ぼすかもしれない
外来種をむやみに日本に入れない



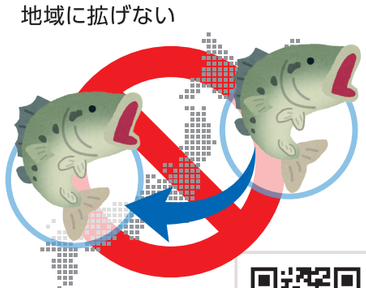
STOP 捨てない!

ペットとして飼っている外来種を
自然のなかに捨てない、逃がさない



STOP 拡げない!

自然の中にいる外来種をほかの
地域に拡げない



編集・発行 国土交通省九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所
筑後川ダム
統合管理事務所HP
2024年10月 発行

松原ダム・下筌ダムの自然


マスコットキャラクター
トーカン次郎

松原ダム

ダムによってできた水辺環境のまわりには、緑豊かな森林、田畑、ダムに流れ込む河川や沢など、さまざまな自然環境が広がっています。
そこには、多種多様な生き物たちがたくさん暮らしています。

ダム



松原ダムと下筌ダムが連続して、大きな水たまりになっています。水の流れがあまりなく、おだやかな環境です。

森林



針葉樹や広葉樹が広がって、木かげをつくり、雨を地面にたくわえてくれます。落ち葉は生き物たちの隠れ家になります。

下筌ダム

沢



ダムの周りには小さな沢がたくさんあり、沢の水がダムに流れ込んでいます。水はきれいで冷たく、希少な生き物もすんでいます。

田畑



森林ととなり同士で田んぼや畑が広がっています。水路などの水辺環境が豊富で、民家もあるので、小さな生き物からそれを食べる大きな生き物までみられます。

河川



大きな岩がごろごろしていて、浅くて水の流れが速いところ(瀬)や、深くて流れがゆるやかなところ(淵)が連続している環境です。

水辺にすむ生きもの





魚類

オイカワ

コイ科　大きさ:約15cm

ダムや河川で広くみられます。繁殖期(5～8月)にはオスは体の色を青とオレンジに変えてメスにアピールします。



魚類

カワムツ

コイ科　大きさ:約15cm

河川で広くみられ、岩の間や柳の下によく隠れています。オイカワよりウロコが小さく、濃い青色の帯が特徴です。



魚類

ムギツク

コイ科　大きさ:約10cm

流れがゆるやかな河川でみられます。細長い体に黒い帯、ひげがあるのが特徴です。黒い帯は大人になるとぼやけます。



魚類　希少

アリアケギバチ

ギギ科　大きさ:約20cm

九州だけに生息していて、流れがゆるやかな河川でみられます。夜行性で、昼間は石と石の間などに隠れています。



鳥類

カルガモ

カモ科　大きさ:約60cm

ダムや河川で1年中みられます。くちばしは黒く、先端が黄色で、目の周りに黒い線があるのが特徴です。



鳥類

アオサギ

サギ科　大きさ:約95cm

ダムや河川の水際でみられます。サギの中でも大きく、青みがかった灰色の体が特徴です。「グワァー‼」と大きな声で鳴きます。



鳥類　希少

ミサゴ

タカ科　大きさ:約60cm

ダムや河川の上空でみられ、水中に足から飛び込んで泳ぐ魚をつかまえて食べます。白いおなかが特徴です。



鳥類　希少

ヤマセミ

カワセミ科　大きさ:約40cm

ダムや河川の周辺の木でみられ、水中に魚をみつけると飛び込んでつかまえます。ハトくらいの大きさで、白黒の模様と頭の羽が特徴です。



鳥類

カワガラス

カワガラス科　大きさ:約20cm

ダムや河川でみられます。名前のとおりカラスのように全身黒っぽい色です。「ビッ」「ビーィ」と鳴きながら川の水面近くを飛んでいきます。



両生類　希少

チクシブチサンショウウオ

サンショウウオ科　大きさ:約15cm

山の中の沢周辺でみられます。青白いブチ模様が特徴です。赤ちゃんは沢の流れがゆるやかな所でみられます。2019年に新種として名付けられました。



両生類　希少

トノサマガエル

アカガエル科　大きさ:約4~9cm

田んぼや湿地、河川でみられます。色はオスが緑、メスがクリーム色のことが多く、背中の線と飛び出た目が特徴です。繁殖期(4～6月)に「グルルル」と鳴きます。



両生類　希少

カジカガエル

アオガエル科　大きさ:約4~7cm

河川の岩の上や周辺の森林でみられます。体は岩に似た茶色で、足に吸盤があります。繁殖期(5～9月)に「フィーフィフィフィ」ときれいな声で鳴きます。

山にすむ生きもの





鳥類

エナガ

エナガ科　大きさ:約15cm

1年中、森林や木の多い住宅街で集団でみられます。日本で2番目に小さい鳥です。白い体に黒くて長い尾羽が特徴です。



鳥類

カケス

カラス科　大きさ:約35cm

1年中、森林でみられます。翼の一部にある青と白の細かいしま模様が特徴です。他の鳥の鳴きまねが上手で、色々な鳴き方をします。



鳥類

ミヤマホオジロ

ホオジロ科　大きさ:約15cm

冬に森林や草地、畑などでみられますが、茂みから出てくることはほとんどありません。サングラスをかけたような黒い模様と頭の形が特徴です。



爬虫類

ニホンカナヘビ

カナヘビ科　大きさ:約20cm

草地など日当たりの良いところでみられ、体は茶色でカサカサしています。逃げ足が速く落ち葉の下などにすぐ隠れるので、捕まえることはむずかしいです。

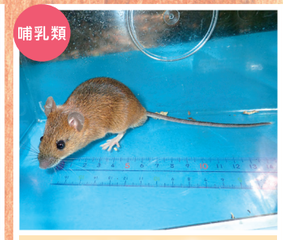


爬虫類

シマヘビ

ナミヘビ科　大きさ:約80~150cm

草むらや田んぼなど開けた場所でみられ、しま模様と赤い目が特徴です。気が荒くかみつくこともありますが、毒はありません。水の上を泳ぐこともできます。



哺乳類

アカネズミ

アカネズミ科　大きさ:約15cm

森林や草地でみられます。背中は明るい茶色でお腹は白く、大きな黒い目が特徴です。木に登ることは苦手で、主に地上で生活します。



哺乳類

タヌキ

イヌ科　大きさ:約55cm

山から人家の周辺まで広くみられます。体はこげ茶色で足や耳が黒く、尾はふさふさで全体的にずんぐりしています。虫や果物などなんでも食べます。



哺乳類

アナグマ

イタチ科　大きさ:約65cm

森林の中で地中にトンネルを掘って暮らしていますがダム周辺の道路を歩いている様子もよくみられます。トンネルを掘るための長い爪が特徴です。



哺乳類

イノシシ

イノシシ科　大きさ:約110~160cm

里山の雑木林や森林、周辺の田畑などで広くみられます。体はこげ茶色でかたい毛におおわれ、鼻で地面を掘って植物の根やミミズを食べます。



昆虫　希少

グンバイトンボ

モノサシトンボ科　大きさ:約4cm

森林があり、水がきれいな河川や湧水池でみられます。オスの足は白く平べったくて、その形が相撲の行司が持つ軍配に似ているのでこの名が付きました。



昆虫　希少

ベニツチカメムシ

ツチカメムシ科　大きさ:約2cm

赤と黒の模様が特徴です。子育てをするめずらしい虫で、母親は産んだ卵をだいて守り、幼虫が生まれるとエサを運んで食べさせます。



昆虫　希少

オオムラサキ

タテハチョウ科　大きさ:約7cm

森林や里山の雑木林、河畔林などで夏にみられます。日本の国蝶で、オスの羽はあざやかなむらさき色です。樹液や果物にあつまって蜜を吸います。

希少＝日本や大分県、熊本県で希少とされている生き物。(参考：環境省レッドリスト、大分県レッドデータブック、熊本県レッドデータブック)